

防災 特集

地域で育む防災への意識

— 9月1日は防災の日です —

圖防災危機管理課 Tel. 23・7284

昨今の災害は異常気象と相まって被害が甚大になっています。災害のリスクから自分の身を守るためには、自助・共助・公助の3つの側面が重要です。6月下旬、市内の2地区を対象として、地域防災訓練が行われました。本特集では訓練の様子と災害に備える重要性についてお伝えします。この機会に身の回りの人たちと災害時の対応について話し合ってみませんか？

「地域で育む防災の力」

お住まいの地区のハザードマップを確認し、災害が起きた時の想定被害を確認してみましょう。災害時にどのような経路で何を持参して避難するのかを身の回りの人たちと確認・共有し、準備を整えることが重要です。自分に必要なものは自分であらかじめ揃え、いざという時の準備を整えましょう。

防災 講話

守るために
るべきこと」

どのようなタ
行うか家族間
、事前に避難
を整理してお
・タイムライ
災害時の避難
単に整理する
積極的に活用
時に迅速な行
備えましょう。



茨城県防災・危機管理課
星毅雄さん

Point2



マイ・タイムラインの作成と防災バッグの準備をしよう！

▶マイ・タイムラインを作成し、災害から身を守るために、「いつ」「どのような」行動をとるかを整理してみましょう。持ち出し用の防災バッグの準備が整っていると速やかに避難することができます。夏と冬では生活に必要なものが違ってきますので、季節ごとに防災バッグを準備することをおすすめします。入念な準備を行い、災害時には慌てず、安全に避難しましょう。

マイ・タイムラインの作成・ダウンロードは二次元コードからご確認ください。



地域防災訓練

茨城県防災士会
吉田淳さん

記入例

避難者カード 令和6年6月30日 現在

取扱注意

災害名 城南スポーツ交流施設

避難所名 城南スポーツ交流施設

※1家族ごとに、避難してきた方の名前などを記入してください。

地区名	氏名	性別	年齢	備考
高浜	高浜 ひろし	男	60	
	〃 ひろこ	女		
	〃 たけし	男		



「水害から身を

や

災害が起きた時に
イメージで避難を
で話し合いを行い
に向けた行動計画
きましょう。「マイ
ン」を活用すると
に関する情報を簡
ことができます。
して、いざという
動ができるように



柿岡地区・恋瀬川流域および高浜地区にお住
まいの市民を対象とし、洪水・浸水を想定し
た地域防災訓練が行われました。当日は各地
域に避難所を開設し、訓練参加者たちは避難
所での手続きなどを実際に確認しました。高
浜地区での訓練では、お天気に恵まれ、土の
う作製実習も行われました。

Point1



ハザードマップの再確認

▶令和4年度、茨城県による土砂災害警戒区域の
新規指定を受け、霞ヶ浦・恋瀬川が氾濫した場
合の浸水想定区域や、土砂災害警戒区域などを
表示した「石岡市防災ハザードマップ」を新た
に作成しました。お住まいの地域の想定につい
て改めて確認してみましょう。
詳しくは二次元コードからご確認
ください。



STEP2 土のうの 並べ方

正しい並べ方



- ①袋の中の土や砂が平らになるように均す。
- ②直接水が接触する側に袋の底部を向ける。
※水側に結び目を向けると、水の流れや水圧により結び目が解け、袋の中の土や砂が流出してしまいます。
- ③複数の袋を並べて積み重ねたりするときは、段ごとに袋の3分の1から4分の1程度が重なるように置く。



石岡市社会福祉協議会の 災害に関する取り組み

災害時における災害ボランティア センター支援に関する協定締結



6月3日、石岡市社会福祉協議会は、一般社団法人石岡青年会議所、石岡JCシニア・クラブ青友会、石岡商工会議所青年部、石岡OEG、石岡市八郷商工会青年部の各5団体と「災害時における災害ボランティアセンター支援に関する協定」を締結しました。この協定により、石岡市内で災害が発生し、災害ボランティアセンターを設置する場合において、活動に必要な資材提供や人的支援などを受けるといものです。また、他自治体での災害時にも支援を行います。この協定を機に平時から連携を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。
※写真撮影時は1団体欠席。

石岡市防災 information

災害時応援協定で相互の協力体制を！

石岡市では市内外を問わず自治体および民間事業者と災害時応援協定を締結しています。これにより、大規模災害が発生した際に、救援物資や応急対策用資器材の提供、災害復旧に必要な人的派遣、避難住民の受け入れなどについて相互に協力し合う体制を整えています。

各団体の詳細については、市ホームページからご確認ください▶



その場でできる1分間の防災訓練

シェイクアウト訓練にご参加ください！

市内全域でシェイクアウト訓練を実施します。

防災行政無線・防災ラジオから訓練放送が流れますので、その場で「まず低く、頭を守り、動かない」の3つの安全確保行動をとってください。

※今回の訓練では、緊急地震速報音は流れません。

日時／9月11日 日 午前10時～約1分間

情報伝達手段／①防災行政無線・防災ラジオ、②メールマガジン、③ホームページ

登録方法／9月10日 日 午後5時までに防災危機管理課へ申込書を郵送、FAXまたは持参するか二次元コードから登録▶



問 防災危機管理課 TEL 23-7284 FAX 24-0324



消防職員と一緒に
土のうを作ってみよう！

ここに注意しましょう！

- ◎土のう作製や並べることに集中してしまい、避難すべき時機を逃さないようにしましょう。
- ◎水が流れている側での作業や水に背を向けての作業は行わず、常に水の流れに目を向け注意しましょう。
- ◎単独での作業は大変危険です。家族や近隣の方々と助け合いましょう。

STEP1 土のうの 作り方

準備するもの：

土のう袋
手袋
土もしくは砂
スコップ



- ①土のう袋に入れる土や砂の量は、内容積の3分の1から2分の1程度。
※入れすぎると袋が丸まってしまい、並べて積み重ねた時に隙間ができ、水が流入してしまいます。
※重いと運べなくなってしまいます。



- ②取っ手の両紐を引き、結ぶ位置を片方の手で握る。
※物によっては片側の紐のみを引っ張ると引き抜けてしまいます。



- ③引いた紐を握った親指の外側に2周以上回す。
※2周以上回さず締め付けると、結び目が緩んでしまいます。



- ④2周以上回した紐の先端を親指の内側に上から下に通す。
※下から上に通すと、締め付けた時に結び目がすり抜けてしまう場合があります。



- ⑤上から下へと通した紐を結び目がきつくなるまで下に引き締める。
※結び目が緩いと紐が解け、口が開いてしまい、袋の中の土や砂が流出してしまいます。